

レポート

常任委員会

総務厚生 緊急経済対策事業に大きな期待

6月16日に本委員会を開催し、所管する外郭団体の経営状況報告を受けた後、所管事務調査を行いました。

初めに、白鷹町土地開発公社の事業報告では、町有地の登記業務のなかで不適切行為が発覚し、不祥事調査委員会を設置して調査を行ったとの報告がありました。

委員から、「町としての責任をどのように考えているか」という意見がでしたが、当局からは調査内容の報告だけとなりました。

次に、ケイエスしらかの経営状況についても報告がありました。その後、

- ・平成21年度病院主要事業
 - ・総合経済対策内容
 - ・第5次総合計画の策定
 - ・平成20年度町税等の収納状況（決算見込み）
 - ・戸籍の電算化
 - ・女性特有のがん検診に対する支援
 - ・白鷹町次世代育成支援行動計画（後期計画）策定
 - ・保育園の状況
- について各担当課から説明を受けました。
- 総合経済対策として、地域活性化・経済危機対策臨時交付金対象事業の説明があり、住宅火災警報



現地調査（あゆかい保育園）

器共同購入事業や背負い式散水装置購入事業、戸籍総合システム導入事業、保育園修繕事業、住宅需要拡大促進事業、袖パーク改修事業など総額2億5千万円ほどの事業内容でした。

病院の事業として、新型インフルエンザの流行に備え、感染性救急医療施設設備（ドック棟にトイレ、ナースセンター、酸素・バキューム設備）を国の経済対策事業を活用して整備するとの説明を受けました。

あゆかい・こぐわ両保育園の現地調査を行いました。保育園の修繕事業内容は、電気設備の点検やプールの塗り替え、屋根の塗装などとの説明を受けました。

鮎貝まちづくり事業調査特別委員会

NPOを基本に

6月18日鮎貝まちづくり事業調査特別委員会で、今年10月4日オープンとなる「あゆむ」の管理運営は、今年度は直営で運営し来年度以降は指定管理者へ移行するための対応を検討しています。

今のところ指定管理者は株式会社とNPOが選択肢として考えられます。

指定管理者に移行したとしても町民が参加できるようにすすめたいとの説明がありました。



待たれる「あゆむ」のオープン